

流通合理化事業活動の概要

事業者：農作物流通イノベーション協議会



計画概要

青果物流における課題である、人や現場に依存するオペレーションからの脱却を図るため、発注システムの改修等による受発注のデジタル化拡大、データを活用した、労務管理に関する業務手順書および配車計画に関する配車手順書の作成等を実施し、デジタル化による属人化等からの脱却を通じた事務労務費削減と青果物の取り扱い数量拡大に向けた実証を行う。

目標

目標年度（令和10年度）までに、
配車/労務管理の属人化を改善し、青果物の管理キャパシティーの増加を図り、売上額を増加させる。
(現状値 14,711,900円/日 → 目標値 15,447,495円/日(5%増))
また、受注情報のデジタル化率拡大等により運送事業における事務労務費を削減させる。
(現状値 2,236,363円/月 → 目標値 1,560,338円/月)

食料システムへの寄与

物流効率化により輸送時間短縮・待機削減を図り、鮮度低下による廃棄ロスの削減、燃料・人件費等のコスト削減に寄与する。また、鮮度保持による品質の向上や店頭価格の安定に寄与する。

計画のイメージ



(2026年2月5日認定)